

八学大4強入り逃す



【マイナビ仙台レディースユースー八学大】前半、八学大はMF宮野日和（右）がシュートを放つ＝十和田市高森山総合運動公園球技場

サッカー

東北女子選手権

サッカーの第41回東北女子選手権第2日は24日、十和田市高森山総合運動公園球技場で2回戦2試合が行われ、青森県代表の八学大

はマイナビ仙台レディースユースに1-7で敗れ、4強入りを逃した。

八学大は前半17分に先制したが、その後は地方で勝

る相手に押し込まれ、前半のうちに逆転された。後半も防戦一方で、立て続けに失点。上位大会の皇后杯全日本女子選手権への出場はならなかった。

（福田駿）

▽2回戦
マイナビ 72-11 八学大
仙台レディ 5-0
ユースユ
イス
（宮城）

先制後は防戦一方

○…青森県代表の八学大は技術で勝る相手に防戦を強いられ、6点差で大敗。

小川啓示監督は「相手にボールを動かされ、難しい試合になってしまった」と肩

を落とした。

先手を取ったのは八学大だった。DF橋本音（3年）が「流れを変えるために思い切って打とう」とペナルティエリア外からミドルシュートを放ち、前半17分に先制に成功。だが、その後は相手の巧みなパスワークに翻弄された。前半のうちに勝ち越されると、後半も失点を重ねた。

同大は12月に全日本大学選手権を控える。フル出場したMF宮野日和（2年）は「決定機で決められなかった。一つ一つのプレーの精度を高めていかない」と課題を口にした。